

# 大規模事業計画内容

対象事業名	大和中学校体育館建替え(または耐震補強)事業	
担当部・課・担当名	教育総務課 施設担当	
事業開始予定年度	平成22年度設計、平成23年度から工事開始	
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律	
実施方法	■直接実施	
	<input type="checkbox"/> 業務委託または指定管理	
	<input type="checkbox"/> 補助金	
	<input type="checkbox"/> その他(	
	<input type="checkbox"/> 未定(	
事業概要	対象(誰・何を対象に)	生徒(大和中学校723人)
	目的(何のために)	建物の耐震強度不足を解消し、生徒が安心して授業に取り組めるようにする。また、新学習指導要綱に対応するため
	事業内容(手段、手法など)	体育館の改築を行う
	事業規模 (敷地面積、建設面積、定員、部屋の数など)	建物 約2900㎡
事業の経緯 (事業が選定された経過など)	<p>大和中学校体育館は、昭和37年築造され築46年経過した建物であり、平成8年度に耐震診断を行ったところIs値=0.36となり耐震強度不足が判明した。</p> <p>平成18年度に耐力度調査(4139点)を行い、総合的に判断して改築という方針を定めた。</p> <p>平成20年度に学社共用の建物とするかのアンケート調査を実施した。その結果をうけ学校単独の施設とする方針にした。</p>	
現状	<p>改築計画があったため必要最小限の修繕しか行っておらず劣化が進んでいる状況である。また、公式用としての基準を満たしたコートが1面であり、今後生徒増に伴い体育の授業が重なった場合や部活において、コートが2面必要となる。</p> <p>平成21年度上記結果を踏まえ大和中学校体育館改築調査等業務委託をおこない検討を行っている。</p>	
市民ニーズ	(定量的:市民意識調査等から)	
	別紙アンケート結果参照	
	(定性的)	

施設整備前の資源投入量(現在までかかった経費など)	内 訳						金額(千円)	
	経費	耐震診断費 不明(保存年限超過) 耐力度調査費 2,205千円 調査費 1,000千円					3,205	
	時間	14年間						
	人的資源							
今後かかる将来のコスト	内 訳						金額(千円)	
	用地買収費	なし						
	建物建設費(設計・監理含む)	平成22年度 設計 17,552千円 平成23・24年度 監理 14,000千円 平成23・24年度 建設 634,500千円					666,052	
	施設整備後のランニングコスト(年間)	メンテナンス費用(施設維持管理等)	現状維持					
		光熱水費	現状維持					
		人件費	現状維持					
財源(国・県補助など)	公立学校施設整備事業国庫負担金 25,931千円 安全安心な学校づくり交付金 66,817千円							
事業見込み	活動指標名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	生徒数の推移の見込み	887	891	889	913	944		
成果見込み(定量的)	成果指標名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
成果見込み(定性的)	生徒が一日の大半を過ごす学校施設であり、災害発生時にも生徒の安全性が図られると共に、地域の避難施設としての活用が図れる。また、新学習指導要綱に対応した教育環境の改善が図れる。							
事業の課題等	継続事業であり、工事期間中施設利用が出来ないため、授業・行事等に影響が及ぼす。							

他自治体での取組み	耐震補強又は改築
他の方法での取組み	体育館の耐震補強工事及び大規模改修工事を行い、他の場所に武道場を建設する。
環境への配慮(負荷)	太陽光発電設備の導入の検討。
市民協働・市民参加の拡大(準備段階・実施段階)	

# 大規模事業検証会議 事業評価結果

## 対象事業：大和中学校体育館建替え（または耐震補強）事業

### ○概要（所管課の現行計画・意見交換等で明らかになったこと）

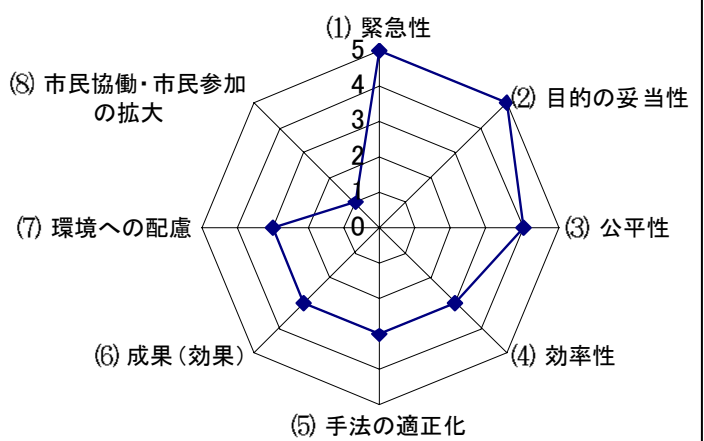
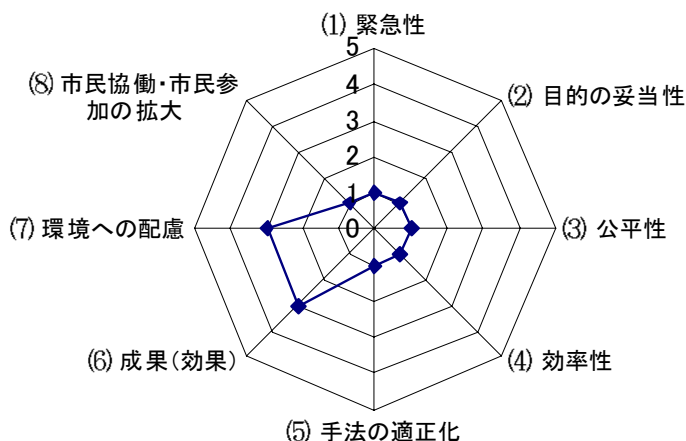
- ・ 所管課（教育総務課）としては、建替えありきであり、生徒の授業や部活を考慮した上で、既存の体育館を壊さず、現在のプールの場所に、武道館を含めた体育館として建替え、古い体育館の場所にプールを建設する案を考えている。建設費としては、約6億6600万円である。
- ・ 上記の案のほか、3つの案が考えられ、1つ目は、既存の体育館を利用し、現在のプール位置にプールと武道館を含む3層の体育館を建設する。2つ目は、既設の体育館を壊し、同位置に武道館を含めた体育館を建設する。3つ目は、既設の建物を耐震補強し、武道館を空きスペースに建設する計画をしている。
- ・ 3つ目の耐震補強を行う場合には、武道館を別途整備する必要があり、補強工事及び武道館の建設にかかる費用として、約4億円が見込まれる。
- ・ 体育館は災害時の避難場所となる。
- ・ 既存の体育館は耐震強度不足である。
- ・ 体育館は昭和37年に築造され、築46年経過し老朽化している（いずれ建替えが必要となる）。
- ・ 生徒数について、他の2校は横ばいであるが、大和中は増加が見込まれる。現在コートが一面のみであり、体育館は今後の生徒の増加に見合わない。
- ・ 所管課（教育総務課）としては、新学習指導要領に対応した武道場の設置も必要であると考えている。
- ・ 市内11校分の校舎・体育館の耐震化については財政状況を鑑み、平成8年より計画的に順次進めてきた。
- ・ 学社供用の建物とするかのアンケート結果を踏まえ、学業優先の施設とする方針である。

### ○評価点数（建替え）

(1) 緊急性	1
(2) 目的の妥当性	1
(3) 公平性	1
(4) 効率性	1
(5) 手法の適正化	1
(6) 成果（効果）	3
(7) 環境への配慮	3
(8) 市民協働・市民参加の拡大	1
合計点数	12

### ○評価点数（耐震補強）

(1) 緊急性	5
(2) 目的の妥当性	5
(3) 公平性	4
(4) 効率性	3
(5) 手法の適正化	3
(6) 成果（効果）	3
(7) 環境への配慮	3
(8) 市民協働・市民参加の拡大	1
合計点数	27



## ○評価コメント

大和中学校体育館について、建替える場合と耐震補強を進める場合が想定されたため、双方を検討した。まず、命を守ることは重要であり、何らかの手を打たなければならず、この点では緊急性は高く、ただちに取り組むべき事項である。しかし、建替えまたは耐震補強かについては、様々な実施パターンがあることが所管課の説明から分かった。市の学校施設全体の中で、児童・利用者の安全を守るためにやらなければならないことは何か、費用はどれだけ必要か、第三者の判断とシミュレーション（市域全体での将来的な学校配置計画を含む）を行い、施設の安心・安全を高める視点をもって計画を見直し、何が適切かを立ち止まって考える必要がある。限られた財源を有効に利用するため、市の学校施設全体の安全性を底上げする視点から、大和中学校だけでなく、耐震補強をしていない学校施設について、耐震補強を選択し、早急に一齐に進めるという手を打つか、または、建替えを選択し、リスクの高い施設から一つひとつ順次実施していくなどが検討されるべきである。本会議としては、前者の視点を重視し、耐震補強を優先すべきと考える。